

特集 平成25年度 決算状況

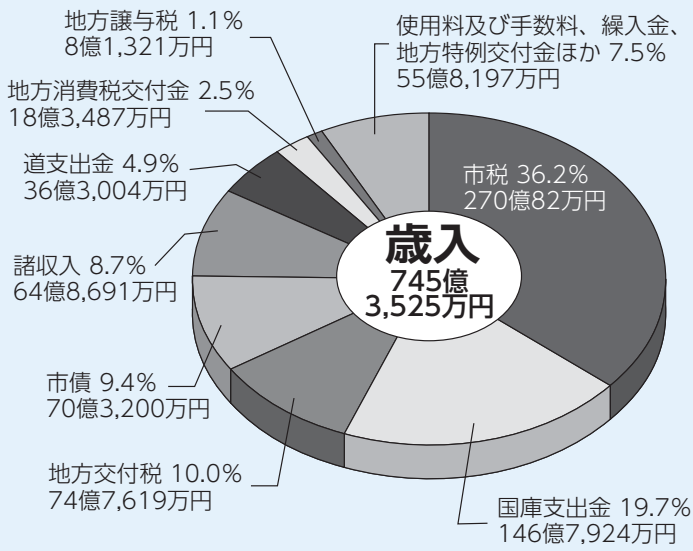
【詳細】 財政課 32-6212



平成25年度決算の結果は、財政健全化法に基づく四指標（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率）のいずれも早期健全化基準を下回りました。また、資金不足比率においては、すべての会計で資金不足はありませんでした。今後さらなる財政健全化に努めてまいります。

各会計の決算概要をお知らせします。

一般会計の決算状況



一般会計は、私たちの生活に密着した福祉の増進や安全の確保、教育・文化の振興、ごみ処理や道路・公園の維持整備など、市政の基本となる会計です。

歳入（年度中の収入）の総額は745億3千525万円で、前年度に比べ42億9千47万円（5.4%）減少しました。歳出（年度中の支出）の総額は730億5千681万円で、前年度に比べ51億4千101万円（6.6%）減少し、差引額14億7千844万円の黒字になりました。

これは、歳入のうち地方交付税や諸収入な

特別会計の決算状況

◆国民健康保険事業

加入者がお金を出し合い、病気の時などに医療費を負担し合う制度です。平成25年度決算では、1億2千11万円の黒字となりました。

◆職員退職手当基金

市の各会計が毎年負担し合い、退職金を支給しています。定年や勤奨などによる退職者70人と普通退職者48人に総額16億5千847万円の退職金を支給しました。なお、本会計は平成25年度をもって閉鎖しました。

◆霊園事業

霊園の造成、分譲と管理を行っています。平成25年度は高丘霊園と高丘第二霊園で79区画の分譲を行いました。また高丘霊園の老朽化した階段の改修工事を行いました。

◆介護保険事業

加入者の保険料と国や道、市の税金を財源として介護サービスを給付しています。平成25年度の決算では、

企業会計の決算状況

◆水道事業

市民の生活用水を供給しています。新設事業で美原町などに配水管布設や、西部第3地区に緊急貯水槽の設置、錦多峰浄水場の第3配水池に接続する管路の布設および電気設備工事などを行いました。また、改良事業では老朽化した配水管の布設替えや、高丘浄水場緩速ろ過池の耐震化および洗砂機の設置工事などを行いました。収益的収支は5億197万円の黒字で、消費税と地方消費税を整理

1千586万円を次年度へ繰り越しました。

◆後期高齢者医療

75歳以上の方と、65〜74歳で一定の障がいのある方の医療を国民みんなで支えあう健康保険制度であり、道内市町村が加入する北海道後期高齢者医療広域連合が運営主体となっています。平成25年度の決算は歳入歳出ともに17億2千604万円でした。

特別会計決算一覧

会計名		25年度決算	差引
国民健康保険事業	歳入	186億2,306万円	1億2,011万円
	歳出	185億0,295万円	
職員退職手当基金	歳入	16億5,847万円	-
	歳出	16億5,847万円	
霊園事業	歳入	8,040万円	-
	歳出	8,040万円	
介護保険事業	歳入	109億1,981万円	1,586万円
	歳出	109億0,395万円	
後期高齢者医療	歳入	17億2,604万円	-
	歳出	17億2,604万円	
計	歳入	330億0,778万円	1億3,597万円
	歳出	328億7,181万円	

◆下水道事業

した純利益は4億2千407万円でした。

快速で衛生的な生活環境を保つため、宮前、青雲地区などの汚水管を整備し、水洗化便所普及率は99.7%になりました。また、浸水対策として宮前、青雲地区などの雨水管を整備したほか、降雨時の監視体制を強化するため、雨量監視システムを導入しました。合流式下水道改善対策として西部地区の汚水管整備や管内貯留堰整備などを行い、西町・高